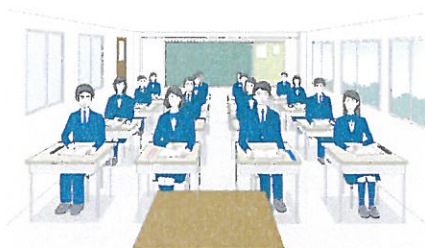


福岡市内型標準服の場合

基本的にはブレザー型の標準服を全員着用します。



※一部学校では
現行の標準服のお下がりが可能です。

今までの標準服



新しい標準服



ブレザー型の標準服で男女の
デザインや色を統一しました

<標準服制定の効果>

- ・男女のデザインに性差が少ない
- ・学校としての統一感がある
- ・先生の服装指導がシンプル

Genderless ジェンダーレススタイル
●ジェンダーレスジャケット



左右どちらの前合わせでも着用可能なジャケットです。
ユニセックス仕様、ジェンダーレス仕様にもできます。
着用する生徒様がご自身で着方を選んでいただけます。

北九州市内型標準服(スタンダードタイプ)の場合

北九州市立中学校では現行の標準服に対する生徒や保護者の願いや経済面に配慮し、



今までの標準服と
北九州スタンダードタイプの
両方から選択できるようになります。

今までの標準服



新しい標準服

+

今までの標準服

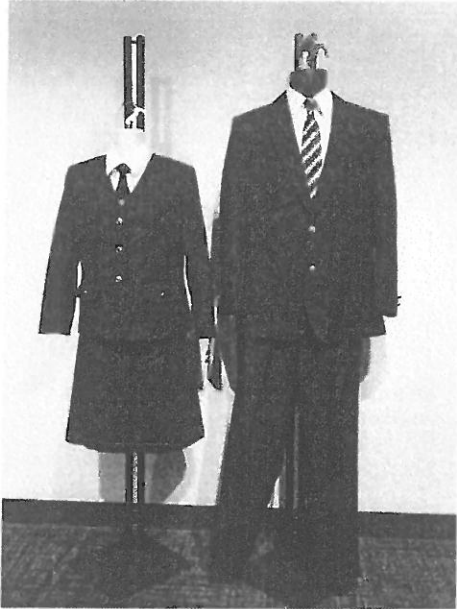
NEW



岐阜市内のブレザー校

青山中学校

販売方法: 各社縫製



ネクタイスタイル

女子はスーツスタイルで襟のないポレロタイプ
男子は上着とボトム生地が異なるブレザースタイル
男女異なるカタチのためLGBTへの配慮は欠ける。

梅林中学校

販売方法: 各社縫製



ノーネクタイスタイル

男子女子同一のカタチでLGBTに配慮した
制服スタイル。
ノーネクタイスタイルは指導面で手間を取らないが
デザイン性に欠ける。

併売とメーカー指定のメリット・デメリット

	併売 メリットとデメリット	メーカー指定 メリットとデメリット
価格	各社で自由競争、サービスなど毎年変動	導入時に競争はあるがその後は変動せず
製品	製品グレードが差別化で異なる	製品グレードが一定
選べる自由	生徒・保護者に選ぶ自由がある	統一商品なので選ぶ自由がない
サイズ規格	メーカーによって規格が異なる	統一したサイズ規格

メーカー指定ならば製品の違いがなく統一された商品になるが
生徒・保護者の選ぶ権利や自由競争が損なわれる。

現行制服とブレザー化の価格の違い

※価格は制服上下のみ

	男子	女子
現行	34,000円～50,000円（税別）	34,000～50,000円（税別）
ブレザー化	36,000～40,000（税別）	36,000～40,000（税別）

現行詰襟・セーラーはサイズ・グレードによって価格が異なります。

ブレザーの場合、ネクタイ・リボンが1,800～2,200円（税別）がプラスアイテム

現行制服任意品

夏スラックス/スカート 長袖/半袖カッターシャツ

ブレザー化のプラスワンアイテム

ニットセーター・ベスト

